

桑折町総合計画「復興創造プラン」

第2年次

『復興と再生の正念場』

町の事業と予算

平成25年度 当初予算概要版



桑折町放射能対策推進町民会議（24.10.26）

平成25年4月

桑折町

目次

	頁
ことしの予算の全体像	1
町の予算編成の主な経過	5
各論	
第 1 章 災害に強い 安全で安心な町	6
1.消防・防災	7
2.防災基盤整備	8
3.生活安全	9
第 2 章 みんなで支える 健康で人に優しい町	10
1.健康と医療	11
2.地域福祉	13
3.高齢者福祉	14
第 3 章 自然豊かで住みやすい 美しい町	16
1.環境衛生（原発事故災害からの克服）	17
2.環境共生	20
3.都市緑化と景観	21
4.生活排水	22
5.水道	23
第 4 章 復旧と復興 快適に生活できる町	24
1.土地利用	25
2.都市計画	26
3.道路交通網	27
4.公共交通	28
5.居住環境	29

目次

	頁
第5章 未来を拓く 子育て支援と学びの町	30
1.子育て支援の充実	31
2.乳幼児保育と教育	34
3.小中学校教育	35
4.生涯学習	37
5.生涯スポーツ	38
6.文化財保護	39
第6章 大災害に負けない 活力ある町	40
1.農業振興	41
2.商工業振興	44
3.観光振興と地域づくり	45
第7章 絆を支える 住民が主役の町	46
1.広報広聴	47
2.住民自治	48
3.町民窓口	48
4.総合計画	49
5.行政機能	50
6.財政運営	52



桑折町総合計画「復興こおり創造プラン」

策定：平成24年2月27日

計画期間：平成24年度から平成28年度

町づくりの目標と方向性、施策を示すもので、町行政の最上位計画となる。東日本大震災と原発事故災害によって、町を取り巻く環境が一変したことから前総合計画を中止し、平成24年2月に新しい総合計画を策定した。

桑折町総合計画では、

町土の除染なくして復興なし

町民の健康なくして復興なし

町民の安心なくして復興なし

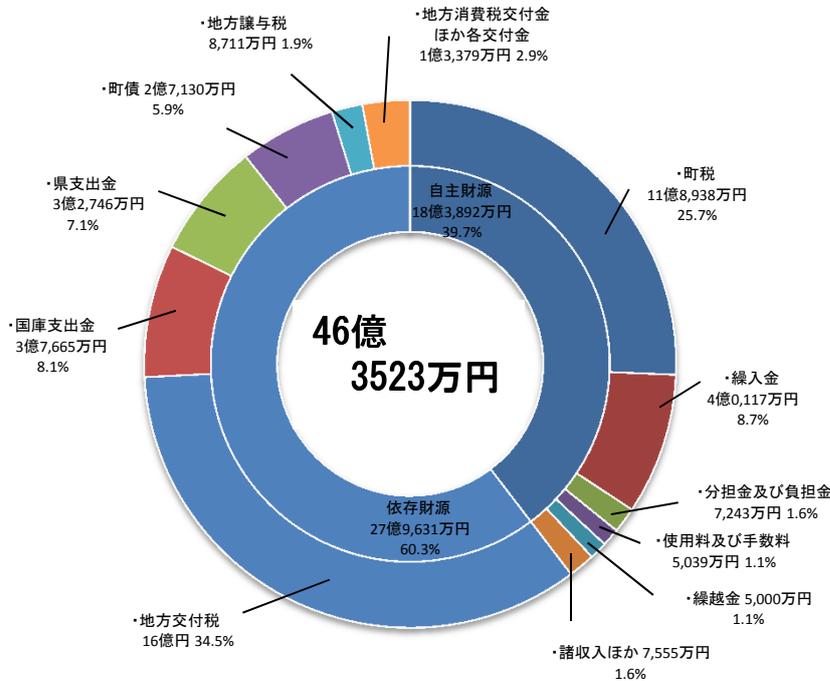
の3大スローガンを町民みんなで共通認識し、3.11以前の町を取り戻し、未来に夢と希望の光輝く復興町づくりを推進する。

ことしの予算の全体像

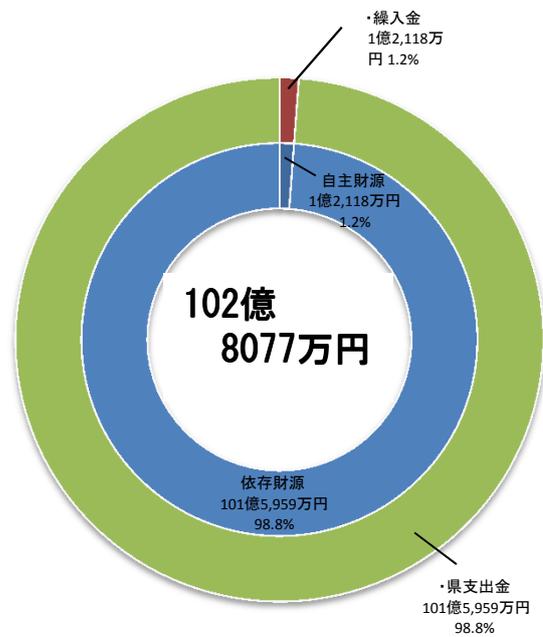
<歳入>

総額：149億1,600万円

※ %は総額に占める構成比を表示



通常分



原発事故災害対応分

平成25年度一般会計当初予算の総額は149億1,600万円で、前年度に比べ61億3,900万円(+69.9%)増加しました。増加した主な要因としては、原子力発電所事故の災害対応にかかる経費(主に除染関係経費)が増加したことによるものです。

【自主財源】

自主財源は、通常分・原発事故災害対応分を合わせて19億6,009万円で、前年度と比較して2億2,591万円の増額を見込みました。対前年度増減額の主なものは、繰入金が東日本大震災復興のための基金取り崩しなどによって、1億7,593万円の増額が見込まれます。一方、使用料及び手数料は671万円の減額を見込み、要因としては、幼稚園授業料および各地区公民館使用料が減額見込みのためです。

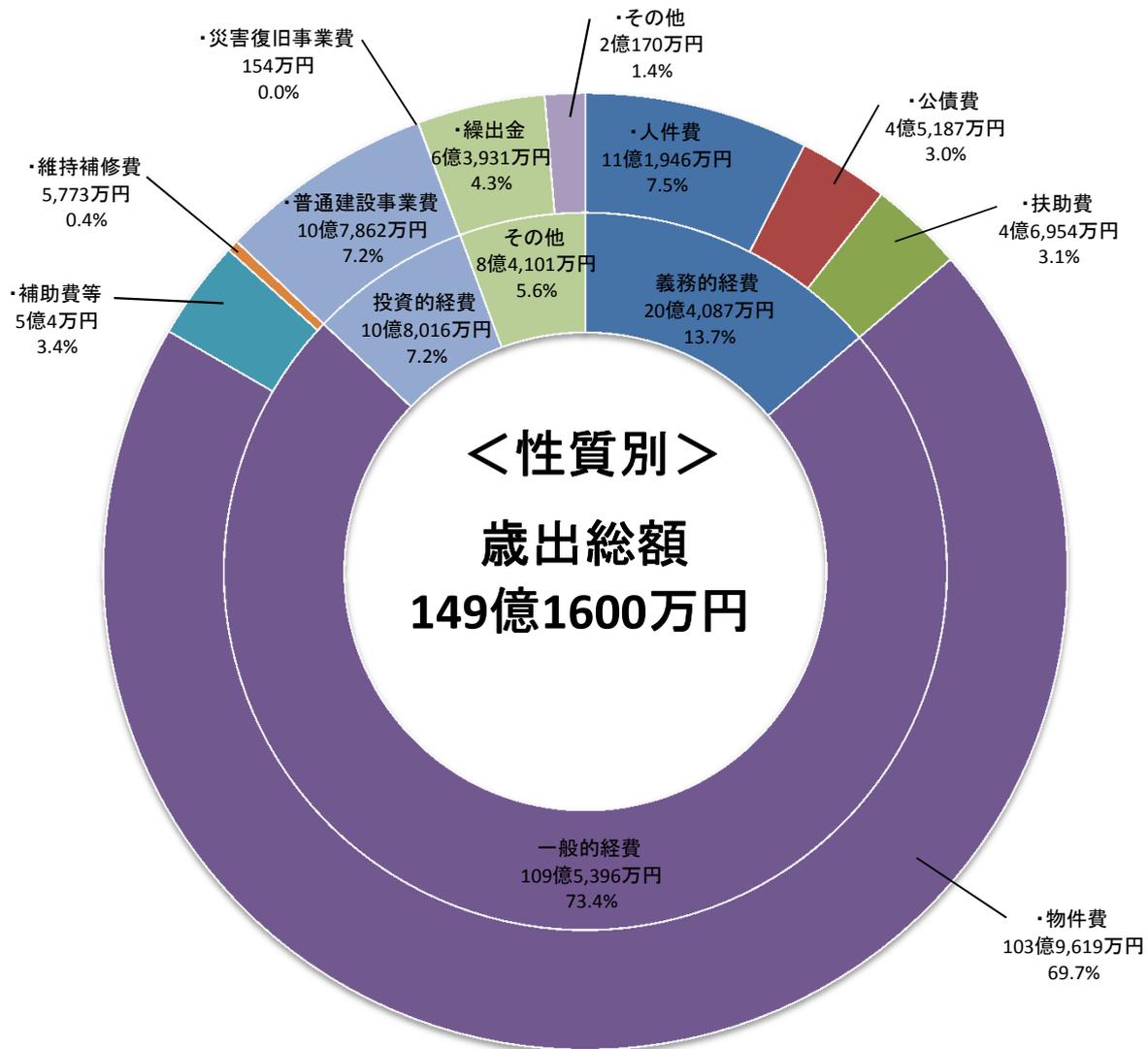
【依存財源】

通常分・原発事故災害対応分を合わせ歳入総額の約87%を占める依存財源は、前年度と比較して59億1,309万円増額の129億5,591万円を見込みました。対前年度増減額の主なものは、県支出金が除染対策事業交付金により59億3,962万円の増額、および国庫支出金が東日本大震災復興交付金などにより8,960万円の増額を見込みました。一方、地方交付税は、9,000万円の減額を見込みました。

<歳出>

○性質別歳出の内訳

※ %は総額に占める構成比を表示



歳出予算を性質別に見てみると、物件費、補助費等、維持補修費を合わせた一般的経費が109億5,396万円と全体の73.4%を占め、次いで人件費、公債費、扶助費を合わせた義務的経費が20億4,087万円と13.7%となっています。また、公共事業など社会的資本の整備を行なう普通建設事業費および災害復旧事業費の投資的経費は10億8,016万円と全体の7.3%となっています。

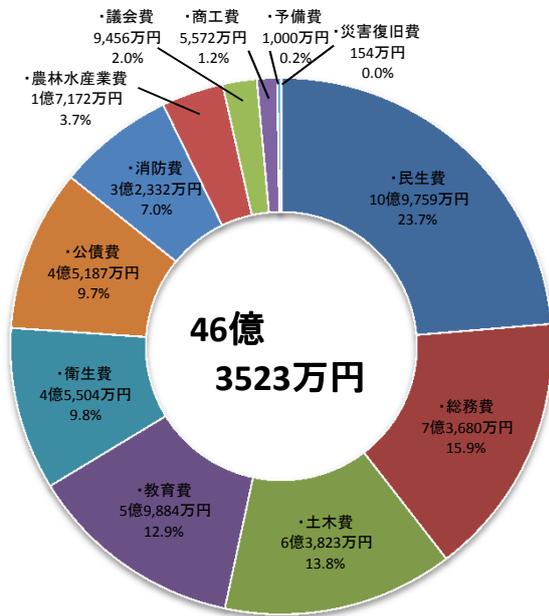
対前年度増減額の主なものは、物件費の増額で、原発事故災害対応としての住宅除染・道路除染などの除染関係委託料によるものです。また、普通建設事業費の増額は、除染などによって出た土砂の仮置場の整備事業や、東日本大震災による造成宅地滑動崩落緊急対策事業、災害公営住宅整備事業などによるものです。

一方、災害復旧費の減額は、被災家屋等解体処理事業及び学校教育施設災害復旧事業の完了によるものです。

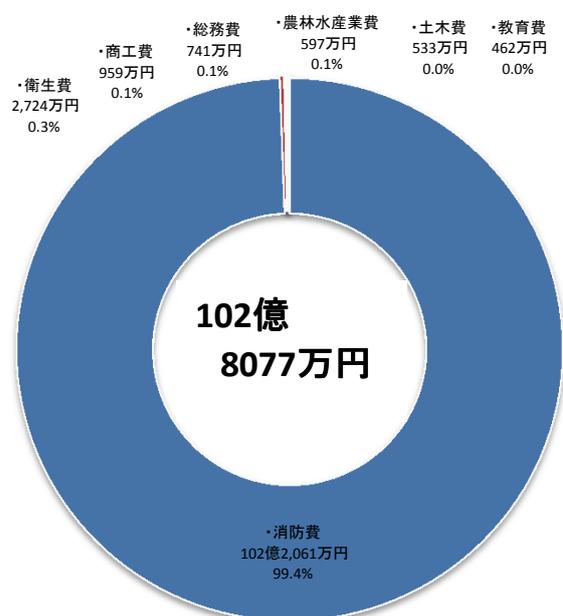
○目的別歳出の内訳

総額： 149億1,600万円

※ %は総額に占める構成比を表示



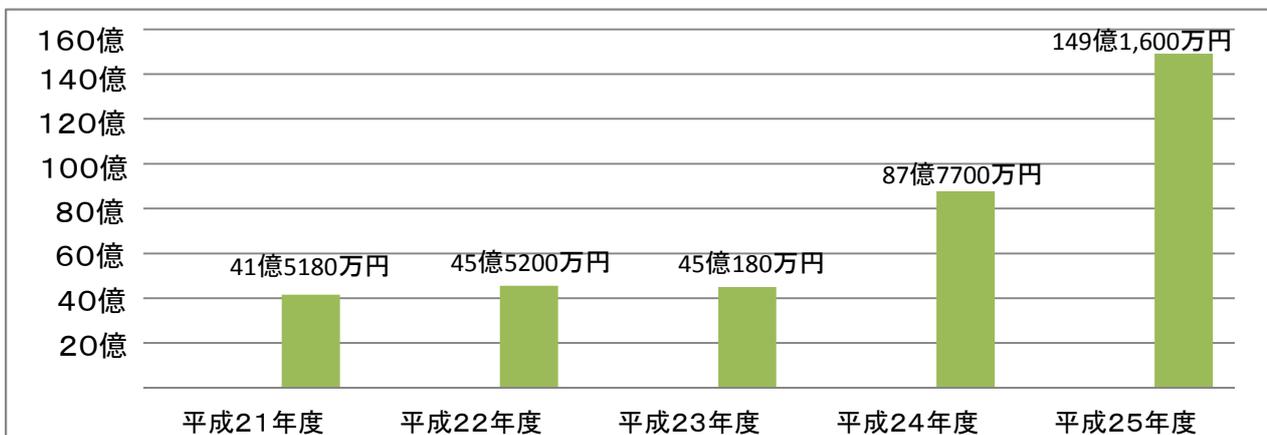
通常分



原発事故災害対応分

歳出予算を目的別に見てみると、通常分(歳出予算総額から原発事故災害対応分を除いた分)は、民生費(23.7%)、総務費(15.9%)、土木費(13.8%)、教育費(12.9%)の順に多くなっており、原発事故災害対応分を除くと「高齢化対策や子育て支援」、「学校教育や生涯学習」に重点を置いた予算配分になっています。

<一般会計当初予算額の推移>



【用語の説明】

一般会計： 福祉や教育・土木といった一般的な事業に使われ、町事業の基本となる会計

自主財源： 町税や使用料など、町が自主的に収入できるお金

依存財源： 地方交付税など、国や県の意思によって額が決められ割り当てられるお金

町税： 町民の皆さんや法人が町に納める税金

繰入金： 各種基金(町の預金)の取り崩しや他会計から繰り入れるお金

分担金及び負担金： 保育所保育料、学校給食保護者負担金など

使用料及び手数料： 町施設使用料、住民票などの諸証明手数料

地方交付税： 自治体の財政力に応じて国から交付されるお金

国庫・県支出金： 特定の目的のために国や県から交付されるお金

町債： 国や銀行などから借りるお金

義務的経費： その支出が義務づけられ、簡単に削減できない経費

経常的経費： 町の仕事をするうえで経常的に発生する経費(義務的経費を含む場合もある)

投資的経費： 社会的資本の整備を進めるための経費

公債費： 町債(町の借入金)の元利償還金に充てる経費

扶助費： 児童や老人、生活困窮者の援助に関する経費

物件費： 委託料や賃金、旅費などに関する経費

補助費等： さまざまな団体への補助金・負担金に関する経費

維持補修費： 道路や公共施設の維持修繕に関する経費

建設事業費： 道路や公共施設を建設改良するための工事費や用地取得に関する経費

繰出金： 他会計や各種基金へ繰り出すための経費

消防費： 消防や火災予防、水防など災害対策に関する経費

民生費： 障がい者や高齢者への福祉、子育て支援、保育所、生活保護などに関する経費

総務費： 庁舎や財産の維持管理、税金の徴収、戸籍管理、選挙、統計などに関する経費

土木費： 道路、河川、公園など社会資本基盤整備などに関する経費

衛生費： 健康増進、疾病予防、環境保全、清掃費などに関する経費

農林水産業費： 農林業の振興を図るための支援や生産基盤整備などに関する経費

商工費： 商工業や観光の振興などに関する経費

町の予算編成の主な経過

年月日	経過等
H24.11.28	<p>政策会議で平成25年度予算編成方針を決定</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <p>【予算編成方針】 基本的考え方 東日本大震災及び原発事故災害からの復旧 町総合計画の推進 徹底した事業コストの縮減 費用対効果の観点 後年度における過重な財政負担の抑制 年間の見通しに立った予算編成</p> <p>【重点施策】 町民の安全安心を確保 町民が将来に希望が持てる復興 町民と一体となった町づくり に基づく事業展開に努め、次の重点施策について予算を重点的・優先的に配分する。 原発事故災害からの克服 震災復旧と防災強化の推進 新しい町づくりの推進</p> </div>
H24.12.3	課長会議で予算編成方針を報告
H24.12.11	予算編成方針説明会（各課係長以上を対象に方針内容を説明）
H24.12.12 ～ H25.1.15	各課において予算積算書作成作業を進める。
H25.1.22 ～ 2.13	<p>財政担当課（総務課財政係）による予算事務査定実施。</p> <p>町長による政策事務査定実施。</p>
H25.2.22	第17回政策会議で一般会計当初予算及び特別会計予算案を決定。
H25.3.4	町議会3月定例会へ平成25年度当初予算を上程する。
H25.3.15	町議会3月定例会で平成25年度一般会計当初予算が議決される。



第17回政策会議の様子(25.2.22)

第1章 災害に強い

安全安心な町

1. 消防・防災
2. 防災基盤整備
3. 生活安全



睦合地区地域防災訓練(24.10.6)

災害時等の危機管理強化

6,334千円

主担当課：総務課

甚大な被害を受けた東日本大震災を教訓とした「地域防災計画」の抜本的見直しについては、町及び関係団体等で構成される防災会議での協議を経て策定を進めています。計画策定後は、町民への公表や周知によって浸透を図るとともに、同計画に基づく取組みを着実に推進します。また、「水防計画」や「国民保護計画」に基づき、多様な危機に対応できる総合的な体制づくりを推進します。

主な内容

水防対策費【204千円】

町デジタル行政無線運用及び修繕費等【206千円】

県総合情報ネットワーク関係費【575千円】

県消防防災ヘリコプター運行連絡協議会【390千円】

(新)ハザードマップの作成【132千円】

(新)ため池等農地災害危機管理対策事業(ハザードマップ作成)【4,400千円】

自衛官募集事務【18千円】

その他防災対策費【409千円】

財源

東日本大震災復興支援基金【4,400千円】

国の負担分【14千円】



新しい防災行政無線で運用開始

分野別計画等

「桑折町地域防災計画」

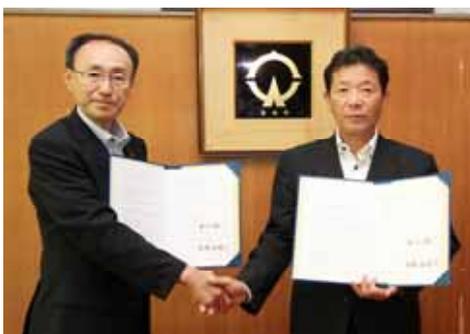
「桑折町水防計画」

「国民保護計画」

地域防災力の強化

400千円

主担当課：総務課



山形県上山市と協定締結(24.8.10)

町民の防災意識の高揚と関係団体相互の連携強化、広域的な防災体制の充実を図るため、伊達崎地区・桑折地区・睦合地区で実施してきた地域防災訓練。今年度は10月に半田地区で実施する予定です。

財源

東日本大震災復興支援基金【400千円】

消防・救急救助体制の強化

202,011千円

主担当課：総務課

伊達地方消防組合と連携のもと、防火対策を実施するとともに、救急体制の充実に取り組みます。また、地域の防災活動の中心となる消防団の活動を支援するとともに、消防施設や設備等の維持管理に努めます。

主な内容

伊達地方消防組合負担金【167,545千円】

地下式消火栓新設工事【1,000千円】

住宅用火災警報器設置補助【100千円】

消防施設の維持管理【1,803千円】

消防団活動運営費【31,563千円】

第1章 2. 防災基盤整備

生活雨水排水路の整備

35,127千円

主担当課：地域整備課

生活・雨水排水路について、大雨などによる溢水防止と円滑な排水のため、計画的に改修を進めていきます。

主な内容

上郡地区用排水路整備工事【25,627千円】

(新)川原水路改良設計測量業務【3,200千円】

(新)駅周辺地区水路改良事業【6,200千円】

(新)駅周辺地区水路改良事業物件移転補償【100千円】

財源

東日本大震災復興支援基金（上郡）【25,626千円】



上郡地区用排水路を計画的に整備

湛水対策の推進

5,552千円

主担当課：地域整備課

内地（堤防に対して住宅や農地等のある側）への湛水（河川へ排水できずに水が溜まってしまうこと）を防止するため、必要な対策や整備を行います。

主な内容

伊達崎排水機場維持管理費【4,900千円】

伊達崎かんぱい管理業務【160千円】

安全な河川づくり推進（協議会等への参加、佐久間川浄化等）【492千円】

財源

県の負担分【362千円】



伊達崎排水機場

第1章 3. 生活安全

防犯活動の推進

16,310千円

主担当課：まちづくり課

「自らの地域は自ら守る」という町民一人ひとりの自主防犯意識を高めるとともに、自主的防犯活動を支援します。

なお、新規事業の防犯灯のLED化推進事業は、既存の防犯灯100灯をLEDに転換して、省エネルギーを推進するものです。

主な内容

(新)防犯灯LED器具交換工事(100灯)【3,855千円】

(新)防犯灯管理システム台帳データ更新業務【228千円】

防犯灯修繕費【2,800千円】

防犯灯電気料金【4,600千円】

防犯灯新設・移設工事【945千円】

桑折地区防犯協会連合会負担金【206千円】

消費者行政推進費（食品放射能測定や啓発活動等）【3,676千円】

財源

県負担分（消費者行政）【3,600千円】

東日本大震災復興支援基金（防犯灯LED）【3,855千円】



年末年始事件事故防止出動式

交通安全運動の推進

2,134千円

主担当課：まちづくり課

町民総ぐるみの交通事故防止運動を展開します。また、町が委嘱した指導員と母の会による幼児交通安全教室の開催（年6回）を支援します。

主な内容

交通安全対策費（啓発活動や教室開催等）【1,697千円】

桑折地区交通安全協会負担金など【287千円】

桑折町交通安全母の会連絡協議会補助金【150千円】

各季の運動

4月	春の全国交通安全運動	飲酒運転撲滅等の街頭運動、新入児童等へ交通安全用品交付等
7月	夏の交通事故防止運動	広報車による活動、小5・6による暑中見舞い一声運動など
9月	秋の全国交通安全運動	広報車による活動、シルバー交通安全リレー作戦など
12月	年末年始交通事故防止運動	広報車による活動など



ホタピーも交通安全運動に活躍

交通安全施設等設置工事

1,800千円

主担当課：まちづくり課

危険箇所等にカーブミラーや防護柵等を設置します。

第2章 みんなで支える

健康で人に優しい町

1. 健康と医療
2. 地域福祉
3. 高齢者福祉



全町民の健康管理に全力で取り組む(ホ-ル'デ'イカウタ)

放射性物質及び放射線対策の推進

27,061千円

主担当課 原発事故対策課

放射線健康リスク管理アドバイザーを委嘱し、必要な助言や指導を受けながら、外部被ばくや内部被ばくに関する検査により長期的な健康管理を徹底します。また、食品に含まれる放射性物質の不安を解消するため、町役場桑島分庁舎において食品放射能濃度測定事業を推進します。

主な内容

ホールボディカウンタによる内部被ばく検査【9,791千円】

放射線健康リスク管理アドバイザーの配置【700千円】

食品放射能測定事業【6,639千円】

放射線積算線量測定（ガラスパッチ）【6,470千円】

(新)線量計（Radi）校正【1,787千円】 その他【1,674千円】

財源 県負担分（放射能測定等）【12,660千円】



放射線健康リスク管理アドバイザー
東京慈恵医大 浦島准教授

生活習慣病等予防対策の推進

27,567千円

主担当課 保健福祉課

病気の予防や早期発見、早期治療のため、各種健康診査やがん検診等を実施します。また、さらなる受診率向上のため未受診者対策に取り組むとともに、がんに関する正しい知識の普及啓発等に努めます。

主な検診内容

胃がん検診、女性特有のがん検診、働く世代への大腸がん検診、肺がん検診、骨密度検診、前立腺がん検診、放射線における健康診査、若い人の健康診査、成人歯科検診、肝炎検査、その他

財源 国・県負担分【4,412千円】 後期高齢者医療特別会計繰入金【174千円】

診査個人負担分【1,492千円】

心と体の健康づくりの推進

32,446千円

主担当課 保健福祉課

健康情報の提供や健康に関する正しい知識の普及啓発に努めます。また、食育指導、調理実習や個別栄養相談などを実施し、町民の栄養改善を推進します。新規事業としては、新しい「桑折町健康づくり計画」の策定に着手するとともに、長期的な健康管理に役立てられるよう、これまでの健康手帳に替えて、内部被ばく検査結果等を記録できる新しい健康管理手帳を全町民へ配付します。

主な内容

(新)桑折町健康づくり計画の策定【1,556千円】

(新)健康管理手帳の配付【3,071千円】

健康づくり推進協議会【98千円】

保健協力員の配置【971千円】

食生活改善推進事業【171千円】

精神保健事業【89千円】



計画最終年度を迎える

自殺予防対策事業パンフレット作成【252 千円】
 献血推進事業【300 千円】
 保健福祉センターの管理費【17,223 千円】
 予防接種事業（成人・高齢者）【7,759 千円】
 結核予防事業【956 千円】
 財源
 県負担分（自殺予防）【252 千円】
 桑折町社会福祉協議会（保健福祉センター）【9,078 千円】
 その他（予防接種）【240 千円】



食生活改善推進事業

地域医療体制の充実

73,773 千円

主担当課 保健福祉課

原発事故災害下において地域医療の役割がさらに大きくなっています。本町は、構成市町（国見町、伊達市）と連携して公立藤田総合病院の経営安定化に努めます。また、公立藤田総合病院を中心に伊達医師会等との連携を強化するとともに、伊達地域の病院群輪番制を確立することで、重症救急患者に対応するための地域医療体制の充実に努めます。

主な内容

公立藤田総合病院負担金【68,546 千円】 伊達地方病院群輪番制協議会補助金【4,769 千円】
 その他【458 千円】

国民健康保険特別会計への繰出金

90,730 千円

主担当課 保健福祉課

国民健康保険は、国保に加入している町民に対して、保険給付（療養の給付、療養費や高額療養費等の支給、出産育児一時金や葬祭費の支給等）や特定健康診査を行っています。町は、桑折町国民健康保険事業の財政安定化のため、一般会計から繰り出しを行います。

財源 国・県負担分【30,383 千円】

分野別計画等

「国民健康保険事業計画」「桑折町特定健康診査等実施計画」

後期高齢者医療特別会計への繰出金

45,536 千円

主担当課 保健福祉課

後期高齢者医療制度（対象者は、主に 75 歳以上の高齢者）の運営は、福島県後期高齢者医療広域連合が主体となり、市町村と事務を分担して行っています。町は、後期高齢者医療の財政安定化のため、一般会計から繰り出しを行います。

財源 国・県負担分 27,802 千円

福島県後期高齢者医療広域連合

155,334 千円

主担当課 保健福祉課

福島県後期高齢者医療広域連合に対し、後期高齢者の医療費や運営に係る事務費を負担します。

第2章 2. 地域福祉

地域ぐるみの福祉活動の推進

18,713千円

主担当課 保健福祉課

生活困窮者などの社会的、経済的自立を促進するため、桑折町社会福祉協議会と連携のもと、民生委員や町内会など一体となって経済的援助やきめ細かな相談、情報提供などに取り組みます。

主な内容

桑折町社会福祉協議会事業補助金【11,923千円】

民生委員・児童委員活動支援【3,590千円】

その他（社会を明るくする運動やシステム経費等）【3,200千円】

財源

県負担分【742千円】

被災者生活支援

17,500千円

主担当課 保健福祉課

震災等による被災者が円滑に生活を再建できるよう、経済的支援や情報提供、相談に取り組みます。

主な内容

災害援護資金貸付金【17,500千円】

財源

県負担分【17,500千円】

障がい者支援と社会参画促進

213,739千円

主担当課 保健福祉課

「障がい者基本計画」並びに「障がい福祉計画」に基づき、障がい者の自立と社会参加、生活支援に取り組みます。

主な内容

重度心身障がい者医療費助成【42,234千円】

重度心身障がい者への福祉タクシー利用券給付【804千円】

障がい者施設等通所交通費の給付【948千円】

障がい者自立支援給付等【148,019千円】

(新)障がい児給付【4,813千円】

日常生活用具の給付【3,900千円】

障がい者自立支援（協議会、審議会、調査等）【646千円】

(新)障がい者虐待防止対策【446千円】

(新)ふれあいデイサービスセンター事業【400千円】

(新)人工透析患者通院交通費補助事業【300千円】

各種システム等の保守・業務費【366千円】

その他(相談支援等)【10,663千円】

財源

国・県負担分等【151,509千円】

分野別計画等

「桑折町障がい者基本計画」

「桑折町障がい福祉計画」

第2章 3. 高齢者福祉

高齢者福祉事業

45,176千円

主担当課 保健福祉課

「桑折町第5期高齢者福祉計画・介護保険事業計画」に基づき、高齢者福祉の向上につながる各種事業等を推進します。

主な内容

老人クラブ 連合会補助金【2,200千円】

シバ-人材センター事業補助金【3,800千円】

老人福祉センター大かや園運営管理【20,732千円】

自立支援ホームヘルプサービス事業(社協委託)【116千円】

生きがいサービス運営事業(社協委託)【3,760千円】

福祉タクシー利用券給付事業【1,242千円】

特別養護老人福祉施設(梁川・川俣)建設資金借

入金償還金補給等【13,212千円】

その他【114千円】

財源

県補助金や使用料など【5,755千円】



大かや園

緊急通報装置貸与事業

1,200千円

主担当課 保健福祉課

緊急事態が発生したときに迅速な救援態勢を図るため、概ね65歳以上の一人暮らしの高齢者を対象に新しいシステムによる緊急通報装置を貸与します。

敬老会の開催

1,320千円

主担当課 保健福祉課

一昨年は大震災と原発事故災害の影響で中止を余儀なくされましたため、今年は2年ぶりの開催となった敬老会。今年は9月14日(土)に醸芳中学校体育館にて75歳以上の町民を招待し、健康と長寿を互いにお祝いする会を開催する予定です。



震災後2年ぶり開催の敬老会(24.9.15)

第2章 3. 高齢者福祉

敬老祝い金

3,603千円

主担当課 保健福祉課

高齢者への感謝と長寿を祝い、77歳、80歳を迎えた方に5千円、88歳1万円、99歳以上2万円の敬老祝い金を支給します。

さらに、100歳を迎えた方には町長から20万円の祝金と祝状を贈呈します。



祝金と祝状贈呈の様子

養護老人ホーム入所措置費

15,025千円

主担当課 保健福祉課

養護老人ホームの入所者にかかる費用を負担します。

財源

入所者負担分【1,759千円】



旧福島地方広域行政事務組合構成市町の補助金で桑折緑風園の修繕工事が竣工(24.8月)

介護保険特別会計への繰出金

184,630千円

主担当課 保健福祉課

介護保険は、高齢者の介護予防と、介護が必要となったときに、安心して介護を受ける人やその家族が生活できるよう社会全体で支える制度です。老齢人口の増加等によって費用は増加傾向にあります。これら費用について町は計画的な事業負担に努めます。

第3章 自然豊かで住みやすい

美しい町

- 1．環境衛生
- 2．環境共生
- 3．都市緑化と景観
- 4．生活排水
- 5．水道



除染を行った大和団地、仮置場も設置した

原発事故対策の推進

10,040,495千円

主担当課 原発事故対策課

放射性物質によって汚染された環境から、一日も早く町民の不安を払拭するため、町が主体となって放射線量の低減化を図ります。

昨年度は、各地区町内会のみなさんの多大なる協力によって大小合わせて28ヶ所の仮置き場確保に目途を着けることができました。今後は「こおり復興除染計画」に基づき、早急に仮置き場の整備に着手するとともに、通学路や町内3,800戸の徹底した除染を加速化させます。また、生活圏の近隣における森林除染事業にも着手します。

なお、原発事故対策室については、平成25年4月1日から名称を原発事故対策課に改め、課長補佐や兼務職員の配置によって更なる組織強化と充実を図ります。

主な内容

- 仮置き場の整備と安全管理【593,263千円】
- 住宅、道路等の除染事業【9,303,500千円】
- (新)森林の除染(生活圏)【100,000千円】
- (新)防火貯水槽除染作業の奨励(消防団)【2,500千円】
- 汚染土砂等搬出業務【20,000千円】
- 嘱託職員の配置【9,402千円】
- 除染講習会の開催【300千円】
- その他(除染用具や車両管理費等)【11,530千円】

財源

県負担分【10,037,945千円】



除染実施計画はH24.5.28に環境省の承認を受けた。これは県北地方では福島市に次いで二番目。町としては県内で初めてとなった。

分野別計画等

- 「こおり復興除染計画」
- 「桑折除染マニュアル」



町内会を対象に連日説明会を重ねる



住宅除染作業の様子



大和団地除染と仮置き場現地見学会(24.12.15)

原発事故損害賠償の請求

2,694千円

主担当課 原発事故対策課

放射能汚染というかつてない大きな問題に対して町全体が一丸となって立ち向うため、昨年4月に桑折町放射能対策推進町民会議が設立となりました。今後は活動を更に強化し、原発事故災害による全ての損害賠償請求を東京電力(株)に対して強く求めています。

また、町民の損害賠償請求に関する相談や支援のため、弁護士無料相談会を実施するとともに、不動産価格の下落によって町の固定資産税収が減収となっていることから、このことについての損害賠償に関する調査も進めています。



(株)東電来庁(24.7.6)

主な内容

桑折町放射能対策推進町民会議の活動推進【1,000千円】

国や東電に対する陳情・要請活動の推進【89千円】

(新)弁護士無料相談会の開催【842千円】

(新)固定資産税に関する損害賠償調査【368千円】

その他(事務費等)【395千円】

H24.10.5、町は原発事故対策に係る費用および歳入に係る減収分として95,973,250円の損害賠償請求書を提出した。

公害対策の推進

211千円

主担当課 まちづくり課

多種多様化する公害に関する苦情に対して、関係機関との連携を図り対応に努めます。また、新幹線沿線等における騒音調査を実施するほか、「阿武隈川サミット」に参加して町民等とともにクリーンアップ作戦等を推進します。

廃棄物の適正な処理

97,140千円

主担当課 まちづくり課

一般家庭などから排出される家庭用ごみは、収集運搬業務委託により実施します。

また、桑折町、伊達市、国見町、福島市、川俣町で構成し、ごみ処理・し尿処理を行う伊達地方衛生処理組合の運営費用を負担します。

主な内容

一般廃棄物収集運搬業務委託費【26,178千円】

不法投棄廃棄物処理業務委託費【126千円】

伊達地方衛生処理組合負担金【70,836千円】



ごみ再資源化・減量化推進事業

624千円

主担当課 まちづくり課

子ども会や婦人会等が自主的に実施する集団資源回収に対して、報奨金を交付します。また、生ごみ減量化容器購入を斡旋し1基につき半額を助成します。

主な内容

ごみ再資源化活動奨励金【400千円】

生ごみ減量化容器購入助成金【210千円】

その他【14千円】



地域の公衆衛生向上

7,491千円

主担当課 まちづくり課

桑折町と伊達市、国見町の協議会により運営している火葬場について、火葬業務及び施設の管理運営費用を負担します。

また、公衆便所5カ所（桃の郷トイレ、諏訪神社内トイレ、益子神社内トイレ、観音寺内トイレ、下郡八幡神社内トイレ）の清掃や維持管理、狂犬病予防事業やへい獣処理事業などに取り組み、地域の公衆衛生の向上に努めます。

主な内容

伊達市桑折町国見町火葬場協議会負担金【5,649千円】

公衆便所清掃管理【1,621千円】

狂犬病予防事業、へい獣処理事業【221千円】

財源

手数料等【721千円】



桃の郷トイレ



伊達市桑折町国見町火葬場

住宅用太陽光発電システム設置支援

3,000千円

主担当課 まちづくり課

地球温暖化対策及び再生可能エネルギーの活用推進を図るため、住宅用太陽光発電システム設置工事に対して補助金を交付します。



太陽光システムを設置した新築住宅

1kwあたり2万円を補助

最大4kW分を上限とします。なお、予算額に達した段階で申請受付終了となります。

分野別計画等

「桑折町新エネルギービジョン」

森林の保全

25,910千円

主担当課 産業振興課

多くの公益的機能を有する半田山と自然公園周辺の森林及び緑豊かな景観保全のため、病虫害防除や間伐対策などを推進します。

また、半田山自然公園の適正な管理運営に努めます。

主な内容

森林病虫害防除事業【15,559千円】

森林環境交付金事業（森林環境学習）【411千円】

半田山自然公園内施設管理運営【9,940千円】

財源

県負担分（病虫害防除、環境学習）【11,711千円】



ヘリによる空中散布

分野別計画等

「桑折町森林整備計画」



緑化の推進

7,707千円

主担当課 地域整備課

陣屋の杜公園、石塚児童公園、新和町児童公園、産ヶ沢親水公園など、日常生活に安らぎと潤いを与える公園や緑地の維持管理に努めます。

今年度は、つつじヶ丘調整池修繕工事(800千円)、産ヶ沢緑地防護柵等施設改修工事(1,000千円)を実施します。

分野別計画等

「桑折町緑の基本計画」



産ヶ沢緑地防護柵等の改修を進める

良好な景観づくり

前年度繰越予算

主担当課 地域整備課

桑折町都市再生整備計画第1期計画(まちづくり交付金事業)に基づき、H24年度から工事に着手した旧伊達郡役所周辺環境整備および桑折駅北広場整備については、今年度内の竣工に向けて事業を推進します。



電線地下埋設及び多目的広場整備後の郡役所周辺イメージ

第3章 4. 生活排水

公共下水道事業特別会計への繰出金

150,524千円

主担当課 上下水道課

これまで整備した公共下水道事業費の償還金として、町は一般会計から繰り出しを行います。なお、今年度の公共下水道は、南半田字六角地区を中心に0.49haの整備を行います。



下水道工事の様子(谷地字道下地内)

合併処理浄化槽設置整備事業

11,691千円

主担当課 上下水道課

生活排水による河川などの水質汚染を防ぐため、下水道事業認可区域以外で専用住宅に合併処理浄化槽を設置する場合、設置費用の一部を助成し、放流水の適正な水質が保たれるよう努めます。

財源

国・県負担分【4,537千円】

分野別計画等

「阿武隈川上流流域下水道関連桑折町公共下水道事業計画」

「桑折町生活排水処理基本計画」

上水道事業への負担金等

6,600千円

主担当課 上下水道課

水道技術者の養成等に努めながら、安全でおいしい水の安定的供給を図ります。

主な内容

町上水道第3次・第4次拡張事業負担金【3,893千円】

水道事業建設工事出資金【1,950千円】

簡易水道協会への補助金【67千円】

(新)水道技術管理者資格取得講習会費用【642千円】

その他【48千円】



活性炭注入装置(放射性物質対策)を配備した内之馬場浄水場

第4章 復旧と復興

快適に生活できる町

1. 土地利用
2. 都市計画
3. 道路交通網
4. 公共交通
5. 居住環境



災害公営住宅整備事業(駅前公有地)のイメージ

第4章 1 . 土地利用

総合的な土地利用の調整

3,222千円

主担当課 まちづくり課

桑折町総合計画「復興こおり創造プラン」策定と土地利用を取り巻く情勢変化を踏まえ、「第5次国土利用計画桑折町計画」の見直しに取り組みます。

また、土地取引に関する情報収集や提供に努めるとともに、県との連携による適正な土地取引等に関する啓発・規制・指導を充実し、地価の安定と有効な町土地利用に努めます。

財源

県負担分（土地利用規制対策事務）【59千円】

分野別計画等

「国土利用計画桑折町計画」



町土地利用に関する指針

地籍調査事業の成果活用

3,152千円

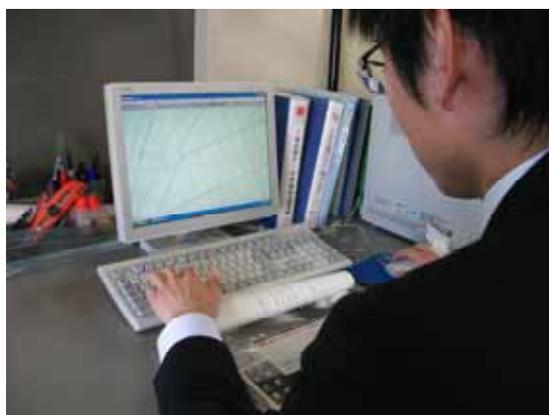
主担当課 税務住民課、地域整備課

地籍調査の成果を円滑に活用できるよう、土地異動情報の更新作業を行い、地籍情報管理システムを適正に管理・運用します。

主な内容

土地情報システム運用業務【2,868千円】

国土調査費【284千円】



今年度から地籍情報管理システムは税務住民課で運用

福島地方土地開発公社に対する損失補償費

34,533千円

主担当課 地域整備課

堰向地区工業団地の未分譲地売却（平成19年度）に伴う損失金を計画的に補償していきます。

主な内容

堰向地区工業団地売却に伴う損失補償金【34,533千円】

都市計画の推進

24,969千円

主担当課 地域整備課

東北中央自動車道整備計画周辺の新しい土地利用を検討するにあたって、東北中央自動車道関連南部開発調査を実施します。また、この調査結果や取り巻く社会情勢の変化等を踏まえ、新しい都市計画マスタープランの策定に着手します。

駅前公有地については、一部が応急仮設住宅用地として緊急的に利用されていますが、今後は災害公営住宅整備事業を推進するとともに、公園や多目的施設の整備、宅地開発に向けた計画の策定に取り掛かっていきます。

主な内容

都市計画関係費（都市計画審議会開催や各種協議会負担金など）【3,026千円】

(新)都市計画マスタープラン策定【5,739千円】

(新)都市再生整備計画事業(駅前公有地利活用等)【5,876千円】

東北中央道関連南部開発調査【5,000千円】

応急仮設住宅建設用地借上料(福島地方土地開発公社所有分)【5,328千円】

財源

各種手数料等【122千円】

まちづくり交付金（都市再生整備計画）【1,200千円】

東日本大震災復興支援基金（南部開発）【5,000千円】

県負担分（仮設住宅）【5,327千円】

分野別計画等

「桑折町都市計画マスタープラン」



町の都市計画の基本的な方針



駅前公有地(福島蚕糸跡地)

道路新設改良事業

69,659千円

主担当課 地域整備課

身近な生活道路の安全性・利便性の向上を図るため、緊急性・公益性・協力性などを考慮しながら、効率的な整備を進めます。



町道長岡線の改良工事に向けて

主な内容

改良設計業務（(新)下郡上代線、(新)吉沼線）【1,700千円】

道路改良補償調査業務(上堰添線)【1,600千円】

道路改良測量業務（(新)下郡上代線、(新)桐ヶ窪線、(新)吉沼線、(新)中郷線）【10,000千円】

改良工事（目古町線、(新)追分下半田線）【29,800千円】

事業用地購入費（(新)長岡線、(新)中郷線、(新)上堰添線）【10,121千円】

道路改良水道管移設負担金（(新)追分下半田線）【400千円】

支障物件補償費等（追分下半田線、長岡線、中郷線、上堰添線）【14,230千円】

その他経費【1,808千円】

道路等の維持管理

72,211千円

主担当課 地域整備課

道路・水路・橋梁の維持補修を行い、安全確保に努めます。

主な内容

道水路維持管理工事【20,000千円】

農道・林道・水路の維持修繕等【5,450千円】

道路台帳の更新【4,563千円】

作業車維持管理費等【2,325千円】

維持補修用重機賃借費【3,642千円】

補修資材費【5,000千円】

その他（測量設計や囑託職員配置、作業用品等）【16,931千円】

橋梁修繕費【960千円】

地下歩道及び歩道橋の維持管理【3,340千円】

スーパーやなみ事業（地域住民による道水路整備）【10,000千円】

財源

その他【25千円】

分野別計画等

「橋梁長寿命化計画」

桑折駅前広場維持管理

891千円

主担当課 地域整備課

駅前広場の利便性向上に努めます。



整備後のJR桑折駅前から北側広場のイメージ(24.12工事着手)

公共交通機関の利便性向上

2,626千円

主担当課 まちづくり課

JRダイヤについて桑折駅利用者の利便性が図られるよう要望するとともに、生活路線バスの維持対策などに取り組みます。

主な内容

地方バス路線等維持対策事業費補助金【2,605千円】

福島県鉄道活性化対策協議会【4千円】

福島空港利用促進協議会【17千円】



被災宅地の再建

13,041千円

主担当課 地域整備課

東日本大震災によって昭和60年整備の造成宅地箇所（新和町地内）で擁壁や地盤にクラック等が多数発生したため、被災住宅の復旧と復興対策および再発防止の観点から、国の復興交付金を活用して滑動崩落防止緊急対策事業（208,000千円：H24予算計上）を2カ年計画で進めています。計画2年次となる今年度は、滑動崩落防止の本格的な工事を実施することになります。本事業の推進にあたって町は関連経費を町費で予算計上します。

主な内容

- 工事施行監理業務【5,000千円】
- 工事損害調査業務【7,000千円】
- 付帯工事【1,000千円】
- その他【41千円】

分野別計画等

「桑折町復興交付金事業計画」



住宅の耐震向上

5,798千円

主担当課 地域整備課

桑折町耐震改修促進計画に基づき住宅の耐震診断を行います。また、耐震改修を促進するため、診断結果で基準を満たさない住宅を全体改修する場合、その工事費の一部を助成する事業（工事費の1/2かつ100万円までとし、今年度は5件を対象）に新たに取り組みます。

主な内容

- 桑折町安全安心耐震促進事業【798千円】
- (新)桑折町安全安心耐震促進工事費助成事業【5,000千円】
- 財源 国・県負担分【4,265千円】

分野別計画等

「桑折町耐震改修促進計画」

住宅の確保

170,767千円

主担当課 地域整備課

国の復興交付金を活用して災害公営住宅を整備し、被災した町民や長期的避難を余儀なくされた浪江町民が安心して居住できる環境を整えます。なお、本整備事業は2カ年計画で進め、住宅の完成は平成26年10月以降を予定しています。

また、町営住宅については適切な維持管理や修繕に努め、利便性と安全性の向上を図ります。

主な内容

- (新)災害公営住宅整備事業【165,381千円】
- (新)西大隅住宅解体撤去工事【900千円】
- 「桑折町住生活基本計画」の推進【194千円】
- 公営住宅修繕(庫場団地内公園遊具・ベンチ)【3,000千円】
- 寺坂住宅簡易防護柵設置替工事【180千円】
- 住宅等災害復旧資金利子補給金【260千円】
- その他経費【852千円】

財源

- 東日本大震災復興交付金(災害公営住宅)【163,500千円】
- 公営住宅使用料等【4,971千円】



浪江と災害公営住宅整備協定(25.2.13)

分野別計画等

「桑折町復興交付金事業計画」
「桑折町住生活基本計画」

第5章 未来を拓く

子育て支援と学びの町

- 1．子育て支援の充実
- 2．乳幼児保育と教育
- 3．小中学校教育
- 4．生涯学習
- 5．生涯スポーツ
- 6．文化財保護



水泳授業が再開（睦合小）

第5章 1. 子育て支援の充実

母子保健事業

14,434千円

主担当課 保健福祉課

妊婦が健康で安心して出産を迎えられるよう、妊婦健康診査費用の助成（15回分）などの妊産婦保健対策を推進します。

また、乳幼児の健全な発育と発達を支援するため、乳幼児健康診査を実施します。

主な内容

妊婦健診の費用助成や乳幼児健康診査、各種教室開催費【11,634千円】

出産育児一時金の国保会計への繰出し金【2,800千円】

財源

県負担分【407千円】



乳幼児健康診査

予防接種の実施

19,315千円

主担当課 保健福祉課

乳幼児や児童、生徒を対象に、各種疾病発生や感染症を予防するため、予防接種を実施します。

種類	対象
四種混合	3か月～7歳6カ月児未満
麻疹風疹	1歳児、幼稚園年長児
二種混合	小6
B C G	1歳未満
日本脳炎	3歳～7歳6カ月児未満、 9歳～13歳未満（標準4年生）
小児用肺炎球菌	2か月～5歳未満
H i b（ヒブ）	2か月～5歳未満
子宮頸がん	中1

子ども医療費助成事業

58,667千円

主担当課 保健福祉課

子どもの健やかな成長に寄与するため、医療費等の自己負担分を全額助成し、その疾病の早期発見と治療を促進するとともに、子育て家庭の経済的負担を軽減します。

昨年度は、10月から県の新たな助成事業によって対象年齢を18歳以下（18歳に達する年度の最初の3月31日まで）に拡充したところですが、今年度の助成事業についても引き続き0歳から18歳以下（ ）を対象とした医療費助成を行います。

財源

県負担分【26,095千円】

「次世代育成支援行動計画（後期計画）」の推進

90千円

主担当課 子育て支援課

「桑折町次世代育成支援行動計画 後期計画」に基づき、地域全体で子育てを支援する環境づくりを推進します。

主な内容

次世代育成支援行動計画推進懇談会【40千円】

事務費【50千円】



児童館・放課後児童健全育成事業費

27,383千円

主担当課 子育て支援課

各地区の放課後児童保育では、放課後児童が安全・安心に過ごせる場所を提供し、児童の健全育成と保護者の就労支援に努めます。

主な内容

子育て支援事業（放課後子どもプラン運営委員会等）【308千円】

児童館の運営管理費（館長・厚生員人件費、施設管理費等）【16,079千円】

放課後児童保育事業（嘱託職員等人件費、行政C&Oシステム経費等）【10,996千円】

財源

放課後児童保育料【4,380千円】

県負担分【9,738千円】

その他【75千円】

分野別計画等

「放課後子どもプラン」

第5章 1. 子育て支援の充実

青少年健全育成事業

363千円

主担当課 生涯学習課

地域に根差した青少年育成町民会議及び各地区部会活動の活性化を促進し、青少年の健全育成や安全確保に取り組みます。

主な内容

青少年育成町民会議推進事業（4地区×7万円）【280千円】

桑折町ボーイスカウト育成会事業【63千円】

桑折町PTA連絡協議会事業【20千円】



児童手当給付事業

184,024千円

主担当課 保健福祉課

子育て期の経済的負担を軽減し、生活の安定に寄与するとともに、児童の健やかな成長に資することを目的に、児童を養育している保護者等に児童手当を支給します。

主な内容

児童手当【183,840千円】

児童手当データ作成【184千円】

財源

国県負担分【155,524千円】

【支給額（月額）】

所得制限額未満である者

3歳未満 1万5千円

3歳以上小学校修了前（第1・2子）1万円

3歳以上小学校修了前（第3子以降）1万5千円

中学生 1万円

所得制限額以上である者 5千円

ひとり親家庭医療助成費

2,368千円

主担当課 保健福祉課

ひとり親家庭で所得が低い家庭や父母のない児童を対象に、医療費の一部を助成します。

財源 県負担分【1,006千円】

ひとり親家庭就学児激励金支給

486千円

主担当課 保健福祉課

就学遺児等（父母またはそのいずれかが死亡、離別、行方不明）へ1人当たり3,000円の図書券を支給します。

桑折町こども園の管理運営

117,757千円

主担当課 子育て支援課

『桑折町こども園』では、就学前の一貫した乳幼児保育・教育に取り組むとともに、幼小の連携を図りながら、教育と子育て支援の充実を目指して事業展開します。

また、少子社会が進む背景の中で、幼児教育の一層の充実と適正化を図るため、新たに幼稚園適正配置検討委員会を立ち上げ、今後の方向性について検討を進めます。

子どもたちの安全対策では、幼稚園施設の建物調査を実施し、危険個所の必要な対策を適切かつ迅速に進めるとともに、保育所屋根防水修繕工事を実施し、保育所施設の安全管理に努めます。さらに、保護者との緊急時における連絡体制の充実のため、保護者連絡網サービス（メール配信）を新たに導入します。

主な内容

醸芳保育所運営費【51,861千円】

(新)保育所屋根防水修繕【550千円】

(新)冷暖房設備工事(ほふく室)【586千円】

(新)保育所保護者連絡網サービス(メール配信)事業【162千円】

分野別計画等

「桑折町こども園保育計画」

各地区幼稚園運営費【60,875千円】

(新)幼稚園適正配置検討委員会【170千円】

(新)幼稚園施設建物調査【716千円】

(新)幼稚園保護者連絡網サービス(メール配信)事業【647千円】

放射線低線量地域での園外活動(バス借上げ料)【1,453千円】

幼稚園就園奨励費補助金(私立分)【737千円】

財源

東日本大震災復興支援基金(建物調査)【716千円】

保育所保育料【15,406千円】

幼稚園授業料【15,204千円】

預かり保育料【7,794千円】

国負担分【2,381千円】

その他【350千円】



幼稚園教育の今後の方向性を探る

小中学校の管理運営

96,599千円

主担当課 学校教育課

「夢を持ち、夢をつなぎ、キラリと光る子ども達を育てよう」のスローガンのもと、子ども達が、意欲と目的意識を持って学び、豊かな心と健康な体を持った人間へと成長できるよう、学校教育の充実に努めるとともに、教育環境の整備を図ります。

なお、これまでは県の緊急雇用対策事業を活用し、普通学級での教員補助を実施してきましたが、今年度からはその事業成果を継承し、特別支援教育支援員の配置を町費において予算措置します。

主な経費

教育委員会の運営【3,757千円】

指導主事や特別支援教育支援員の配置等【16,813千円】

英語指導助手受入事業【5,601千円】

小学校管理運営費（健康検査・教育教材購入・各種大会奨励等）【48,099千円】

中学校管理運営費（健康検査・教育教材購入・各種大会奨励等）【20,843千円】

学力向上対策事業【1,486千円】

財源

その他【340千円】

分野別計画等

「桑折町教育委員会 学校教育の重点」



運動会の様子(醸芳小)



県最優秀校のホームページ委員会(伊達崎小)

教育支援事業

8,503千円

主担当課 学校教育課

経済的に困窮する世帯や町外から避難している被災児童生徒を対象に、給食費や学用品代などの負担を軽減します。また、奨学金の貸与による進学支援を実施します。

主な内容

要保護・準要保護児童生徒等就学援助【6,699千円】

特殊教育就学援助【254千円】

被災児童生徒就学援助費【1,550千円】

財源

国負担分【1,676千円】

学校給食センターの運営

107,669千円

主担当課 学校教育課

学校給食は、各家庭で負担いただく給食費と町の一般財源からの負担で運営しています。食品放射能測定器による全量検査の徹底によって、安全で安心な食材を使用した学校給食を提供します。

主な内容

給食食材費【57,818千円】

学校給食モニタリング事業【256千円】

その他施設運営管理費等【49,595千円】

財源

給食保護者負担金【50,735千円】

県負担分（モニタリング事業）【256千円】



給食は放射能測定所で毎日測定

教育施設の充実

111,422千円

主担当課 学校教育課

教育内容や児童生徒数等に応じた施設・設備等の計画的な整備をしていきます。

今年度は、再生可能エネルギーの活用推進、地球温暖化対策や環境学習等の教材としての活用を目的に、醸芳小学校、伊達崎小学校に太陽光発電装置および蓄電装置の設置工事を実施します。また、醸芳小昇降口前コンクリート全面補修や半田小運動遊具塗裝修繕など、老朽化した学校施設や設備等の修繕を行います。

施設の安全対策では耐震検査を実施し、危険個所の把握と迅速な対応を進めます。

主な内容

(新)太陽光発電装置・蓄電装置設置工事(醸小、伊小)【102,800千円】

(新)非構造部材耐震検査業務【2,060千円】

小学校施設・設備等の修繕【5,124千円】

中学校施設・設備等の修繕【1,438千円】

財源

県負担分（太陽光）【82,000千円】

東日本大震災復興支援基金（耐震検査）【2,060千円】



太陽光発電装置工事等を進める（醸芳小）

生涯学習活動の推進

29,016千円

主担当課 生涯学習課

「桑折町生涯学習推進基本計画」に基づき、乳幼児から高齢者まで様々な世代を対象としたプログラムを準備し、町民が学習意欲を高め、だれもが学習できる機会を得られるよう各種事業を推進するとともに、町民の主体的な学習活動を支援します。

また、中央公民館については東日本大震災およびアスベスト材使用の影響で閉館しており、町民利用にご迷惑をお掛けしている状況にあります。このため、4月1日から当面の間、各地区公民館使用料の無料措置()を実施します。

無料措置対象は文化団体連絡協議会や体育協会加盟団体等第一種で利用されている団体に限る。

主な内容

社会教育関係費【2,398千円】

各種講座・教室開設等【2,930千円】

ふくしまっ子体験事業【128千円】

羽州街道交流会事業【320千円】

成人式・成人のつどい開催【403千円】

社会教育指導員の配置【3,627千円】

貸出図書購入【650千円】

公民館の維持管理・運営費【18,560千円】

財源

県負担分【668千円】

施設使用料等【86千円】



ふくしまっ子体験活動事業(24.8.10 会津高原)

分野別計画等

「桑折町生涯学習推進基本計画」

芸術・文化の振興

780千円

主担当課 生涯学習課

文化祭や作品展など活動の成果発表の場づくりに努め、より多くの町民が自主的に芸術・文化活動に取り組めるよう環境整備に取り組みます。

主な内容

桑折町文化団体連絡協議会補助金【600千円】

文化活動奨励金等その他文化活動事業経費【180千円】

国際性豊かな町民育成

2,240千円

主担当課 生涯学習課

震災の影響等で休止していたエリザベスタウン市との相互交流事業を再開します。

今年度はエリザベスタウン市からの訪問団が10月に来町する予定です。エリザベスタウン市との交流を通して、町民の豊かな国際性を育むとともに、原発事故災害下にある福島県に対する国際理解等へつなげていきます。

財源

東日本大震災復興支援基金【2,240千円】

スポーツ振興事業

1,511千円

主担当課 生涯学習課

各種スポーツ大会や教室を開催し、子どもから高齢者まで楽しめる生涯スポーツを推進します。また、町民の各種大会への出場や競技スポーツを奨励します。

主な内容

- 社会体育関係費【307千円】
- 各種大会や教室の開催【702千円】
- 体力測定会の開催【202千円】
- 全国大会等出場激励金【300千円】



体力年齢測定の様子

スポーツ施設の整備充実

13,787千円

主担当課 生涯学習課

スポーツやレクリエーション活動の振興に寄与するため、町のスポーツ関係施設の維持管理を行っていきます。

主な内容

- 体育施設の管理業務【12,357千円】
- (新)町民運動場ナイター引込柱区分開閉器等交換工事【630千円】
- (新)町民テニスコート人工芝張替工事【800千円】
- 財源 施設使用料【1,550千円】

自主的スポーツ活動への支援

2,360千円

主担当課 生涯学習課

町民が主体的に企画運営するスポーツ活動を育成支援します。

主な内容

- 桑折町体育協会事業補助金【400千円】
- 総合型地域スポーツクラブ補助金【500千円】
- ふくしま駅伝チーム補助金【1,400千円】
- 桑折町国見町少年剣道大会負担金【60千円】



マルベリーこおり「スノートレッキング」



ふくしま駅伝

史跡・文化財の修復

1,500千円

主担当課 生涯学習課

震災で被害のあった文化財の修復事業を進めます。なお、平成25年2月に工事請負契約を締結した旧伊達郡役所保存修理工事については、平成24年度予算を繰越し、今年度内に完成できるよう工事を進めていきます。

主な内容

(新)町指定文化財修復事業補助(無能寺桑折代官墓所等)

財源

東日本大震災復興支援基金【1,500千円】



史跡・文化財の調査・保存・活用等

27,548千円

主担当課 生涯学習課

先人たちが築き大切に継承してきた歴史的・文化的遺産を後世に伝承していくため、調査研究や維持管理、環境整備等を行っていきます。

主な内容

桑折西山城跡調査・整備事業【12,019千円】

桑折町文化記念館の管理運営【11,506千円】

(新)桑折町歴史散歩パンフレット作成【483千円】

(新)万正寺の大力ヤ枝支柱設置工事【807千円】

文化財保護に関する経費(保護審議会・遺物整理・試掘調査等)【2,063千円】

指定文化財等管理費(つつじヶ岡史跡公園、半田銀山遺跡等)【420千円】

桑折町文化財保存会補助金【200千円】

桑折町祇園ばやし振興会補助金【50千円】

財源

国・県負担分(西山城)【4,790千円】

県市町村振興協会交付金(文化記念館)【2,400千円】

東日本大震災復興支援基金【483千円】

分野別計画等

「桑折西山城整備計画」



「石積み出入口 大発見」西山城発掘調査説明会(24.11.10)

第 6 章 大災害に負けない

活力ある町

- 1 . 農業振興
- 2 . 商工業振興
- 3 . 観光振興と地域づくり



19 回目の皇室献上桃選果式（24.8.8）

原発事故災害からの農業復興

75,968千円

主担当課 原発事故対策課、産業振興課

農業関係団体や農業従事者の協力と尽力のもと得られた昨年の成果を踏まえ、引き続き放射性物質の影響を受けない農産物づくりに向け、水田の放射性物質吸収抑制対策(関連予算は平成24年度予算で補正計上)や米の全袋検査等を推進します。また、原発事故の影響で果樹剪定枝の処理方法が課題となっていますが、この対応策としては農業廃棄物チップ化事業を新規導入し、減量化したうえでの保管に取り組んでいきます。

風評被害対策では、県ブランドイメージ回復支援交付金を活用し、農業関係団体と共に首都圏等でのトップセールスを更に強化するとともに、昨年から実施している果樹贈答用パッケージ作成販売事業などを展開していきます。

また、農業復興に関する新しい施策としては、国の交付金を財源として活用し、原発事故災害を背景とした果樹改植への支援事業を展開していきます。

主な内容

- 東日本大震災農業経営対策特別資金保証料補助金【960千円】
- (新)農業廃棄物チップ化事業【70,000千円】
- (新)桃販売促進活動事業【583千円】
- (新)農産物販売促進果樹贈答用パッケージ作成販売事業【425千円】
- (新)東日本大震災農業生産対策事業(果樹改植事業)【4,000千円】

財源

- 県の負担分【74,000千円】
- 東日本大震災復興支援基金【1,008千円】



水田放射性物質吸収抑制対策事業



東京大田市場でPR(24.7.9)



桑折産桃をパッケージでPR



ベルトコンベア式測定器

農業生産体制の確立

17,665千円

主担当課 産業振興課

「農業振興地域整備計画」及び「農業農村整備事業管理計画」に基づき、総合的な農業・農村の環境づくりを進めます。また、町では農業を取り巻く問題解決のため、新たに集落や地域内での主体的な話し合いに奨励金を交付し、集落・地域内での中枢経営体の育成や農地集積等を目指す「人・農地プラン」の作成を促進していきます。

主な内容

- 農業委員会の運営【11,451千円】
- (新)人・農地プラン策定事業奨励金【1,000千円】
- 農地流動化の奨励【2,000千円】
- 農業経営基盤強化資金利子助成金など【126千円】
- 中山間地域直接支払事業【2,033千円】
- 恵みの農地再生事業(遊休農地整備事業)【700千円】
- 農業総務費(団体負担金や事務費等)【355千円】

財源

- 県負担分【6,105千円】

分野別計画等

- 「農業振興地域整備計画」
- 「農業農村整備事業管理計画」

担い手づくりと就農促進

710千円

主担当課 産業振興課

意欲ある農業経営者を育成するとともに、農地の貸し借り促進や担い手づくりなどを推進します。

主な内容

地域担い手育成事業【190千円】

桑折町認定農業者会事業補助金【100千円】

新規就農者経営活動支援事業【420千円】

農業経営の充実と改善

14,392千円

主担当課 産業振興課

原発事故災害によって、本町農業は大変厳しい状況に追いやられてしまいましたが、厳しさを増す状況の中で、農業経営に意欲を持って営めるような支援など各種取り組みを進めます。

主な内容

水田農業構造改革対策奨励事業【2,550千円】

環境にやさしいももづくり推進事業【1,850千円】

青果物価格補償準備金【2,871千円】

果樹共済加入促進事業【600千円】

(新)果樹改植事業【380千円】

伊達みらい農業協同組合営農推進事業(補助金)【342千円】

(新)水田農業改革支援事業(農業者戸別所得補償制度推進事業)【3,000千円】

果樹土づくり推進事業【500千円】

桃せん孔細菌病防除対策事業【1,805千円】

王林原木保存会への負担金【46千円】

伊達地域農業振興協議会【29千円】

果樹病虫害発生予察事業【160千円】

畜産振興費【148千円】

その他【111千円】

財源

県負担分(水田農業改革支援)

【3,000千円】



みんなの力を合わせて風評を吹き飛ばす

第6章 1. 農業振興

有害鳥獣駆除対策事業

5,198千円

主担当課 産業振興課

サルやクマなどによる農作物被害を最小限に止めるため、睦合地区や半田地区を中心に被害防止対策に取り組みます。これまで有害鳥獣駆除対策については、自主的団体である有害鳥獣捕獲隊へ業務委託をしていましたが、更なる活動の活性化や人材育成につながるよう、同隊を公的に位置付けた有害鳥獣駆除対策実施隊を新たに設立します。

主な内容

(新)有害鳥獣対策実施隊事業【1,917千円】

捕獲用檻等修繕【100千円】

有害鳥獣被害防止資材購入事業(補助金)【300千円】

有害鳥獣対策協議会等への参加(有害獣生息状況調査含む)【2,881千円】

農村環境の整備充実

5,444千円

主担当課 地域整備課

農業生産基盤整備事業として施設修繕や維持管理を適切に行います。
また、老朽化した半田沼の取水施設(底樋)について、県事業による改修工事を実施します。町では県と連携しながら本事業の推進にあたり事業負担金を支出します。

主な内容

農業基盤整備事業【1,632千円】

伊達西根堰土地改良区に対する補助【2,282千円】

半田沼基幹水利ストックマネジメント事業【1,080千円】

松原農村公園維持管理費【200千円】

(新)松原農村公園施設修繕(遊具)【100千円】

産ヶ沢ホタル自然公園維持管理【150千円】

分野別計画等「農業農村整備事業管理計画」

林業振興事業

2,066千円

主担当課 産業振興課、地域整備課

公益的な機能を有する森林を保全するためにも林業の振興に取り組みます。

主な内容

国見町・桑折町共有林北山組合負担金など【235千円】

林業振興対策事業【366千円】

町有林保育事業【265千円】

林道治山工事等【1,200千円】

分野別計画等

「桑折町森林整備計画」

林業振興事業

1,514千円

主担当課 地域整備課

震災で被害のあった林道の復旧工事を実施します。

主な内容

林道成田線災害復旧工事【400千円】

(新)林道産ヶ沢線災害復旧工事【980千円】

その他関係費【134千円】

財源 災害復旧事業債【800千円】

商業の活力づくり

12,988千円

主担当課 産業振興課

商店街の活力維持と賑わいづくりのため、プレミアム付共通商品券発行事業や元気いっぱい交流市事業、桃雛まつり事業、軽トラ市実行委員会事業など、商店会や商工会などが主体的に実践する事業を支援します。

主な内容

- 桑折町商工会補助金【6,074千円】
- プレミアム付共通商品券発行事業補助金【1,120千円】
- 商店街活性化推進事業【1,100千円】
- 桑折町街路灯電灯料補助金【981千円】
- まちなか魅力再発見事業補助金【300千円】
- 桑折宿軽トラ市実行委員会補助金【300千円】
- 桑折宿雛めぐり事業補助金【200千円】
- カフェ図書(まゆたま)運営事業【1,032千円】
- 桑折宿元気いっぱい交流市(商工会)【1,200千円】
- 桑折町産業祭(JA)【610千円】
- その他(事務費等)【71千円】
- 財源 東日本大震災復興支援基金等【2,623千円】



元気いっぱい交流市～復興祭り～(24.10.21)

中小企業への支援

31,010千円

主担当課 産業振興課

資金融資制度の原資を県信用保証協会に預託するとともに、借入時に掛かる信用保証料を全額補助します。

主な内容

- 桑折町中小企業経営合理化資金預託金【30,000千円】
- 保証料補助金など【1,010千円】
- 財源 預託金元金【30,000千円】

雇用創出につながる工業の振興

14,494千円

主担当課 産業振興課

現下の雇用情勢の深刻化を踏まえ緊急雇用対策事業を実施し、職を求めている最中の方の生活安定のため、一次的な就業の機会を提供します。

主な内容

- 福島県企業誘致推進協議会【59千円】
- 企業誘致対策費【20千円】
- 緊急雇用創出事業【14,415千円】

- 緊急雇用対策事業で町臨時職員を7名採用
- ・町内観光拠点施設・商店街の回遊性向上事業(1名)
- ・(新)観光情報等発信推進事業(1名)
- ・(新)保育所児童サポート事業(1名)
- ・(新)幼児教育サポート事業(1名)
- ・(新)桑折町地域防災計画作成事業(1名)
- ・(新)内部被ばく検査事業(2名)

財源

- 県負担分(緊急雇用)【14,075千円】

観光の振興

2,789千円

主担当課 産業振興課

風評被害払拭と桑折応援者拡大を図るため、首都圏や仙台市等で観光物産PR事業に取り組むとともに、県内市町村間の連携を推進し福島県の魅力を積極的に発信していきます。また、町観光協会への支援を再開し、町民主導による取組み活性化を促進しています。

主な内容

観光物産PRイベント出展事業等（東京都内、仙台市、埼玉県）【146千円】

観光物産宣伝費（PR名刺等）【393千円】

桑折駅「チカラ」運営【318千円】

うつくしま観光誘客促進事業（広域連携）【59千円】

花街道観光キャンペーン事業（広域連携）【23千円】

(新)桑折町観光協会事業【1,850千円】

財源 東日本大震災復興支援基金【2,084千円】



桑折町の観光物産フェア（24.8.25:コラッセふくしま）

地域づくりの推進

19,511千円

主担当課 産業振興課

町民研修センター「うぶかの郷」は、町民の研修と憩い、交流の場として運営します。また、地域の魅力発信のため、新しいふるさと製品の開発を支援するとともに、震災で被害のあった桑折御蔵の修繕工事を実施します。

主な内容

ふるさとづくり事業（コミュニティ助成事業、関係会議費等）【1,640千円】

「うぶかの郷」管理運営（指定管理料や改修工事等）【13,687千円】

臨時職員人件費【2,884千円】

(新)桑折町ふるさと製品開発事業【300千円】

(新)町内観光物産アンテナショップ 誘客促進事業【1,000千円】

財源

東日本大震災復興支援基金等【9,984千円】



美肌の湯 桑折温泉うぶかの郷

地域間交流事業

225千円

主担当課 産業振興課

東京都荒川区をはじめとする地域間交流については、イベントへの相互参加など経済的交流だけに止まらず、子どもたちの活動交流や防災協力など様々な分野に良い影響が図られるよう継続的に交流事業を展開し、桑折応援者の拡大や地域活性化につなげていきます。



「川の手あらかわまつり」に出展（24.4.29）

第7章 絆を支える

住民が主役の町

- 1．広報広聴
- 2．住民自治
- 3．町民窓口
- 4．総合計画
- 5．行政機能
- 6．財政運営



第5次行革大綱策定にあたって行政改革懇談会から提言を受ける（24.12.12）

第7章 1. 広報広聴

広報活動の充実

5,251千円

主担当課 まちづくり課

広報紙や復興情報において工夫を加えながら、町民の皆さんへわかりやすく行政情報を発信します。また、町ホームページや町議会中継システムなど、情報通信技術を活用した広報活動に努め、時機を的確に捉えた情報発信と内容充実を図ります。

主な内容

広報こおり・復興情報の編集【3,445千円】

町ホームページの運用管理【1,554千円】

議会中継（ライブ配信）運用業務【252千円】



復興情報は随時発行



広報こおりは毎月発行

町民意向の反映

105千円

主担当課 まちづくり課

まちづくり懇談会や町政モニター制度、町民ご意見箱の設置など、町民の皆さんが町政に対して建設的な意見を寄せてもらえるような機会づくりを進めます。



町長と意見交換まちづくり懇談会開催（24.11.29）

第7章 2. 住民自治

行政連絡員費

14,773千円

主担当課 まちづくり課

行政連絡員(町内会長)及び行政区(町内会)が、円滑に活動できるよう支援します。

主な内容 行政連絡員報酬、町内会活動奨励費など【14,773千円】

住民自治活動支援事業

3,019千円

主担当課 まちづくり課

地域が抱える課題解決や地域づくりを考える場として、各地区に設置されている「住民自治協議会」の活動を支援します。また、町内会等の自治活動を啓発支援します。

主な経費

住民自治協議会運営交付金【2,000千円】

町内会育成振興事業【1,019千円】

- ・集会施設修繕事業補助金
- ・集会所建設資金借入金に対する利子補助

〔 中郷町内会、上郡上代町内会、(新)六丁目町内会
(新)荒屋敷町内会 〕

男女共同参画推進事業

242千円

主担当課 まちづくり課

町民一人ひとりが、男女共同参画社会への意識を醸成するため、昨年度策定した第2次こおり男女共同参画プランに基づき、あらゆる分野や機会において男女が共に能力を発揮できる社会環境づくりを進めます。また、今年度は同プランの概要版を作成し、町民のみなさんへの浸透を図ります。

主な経費

関係研修会参加奨励や啓発費【63千円】

第2次こおり男女共同参画プラン概要版印刷製本費【179千円】

分野別計画等

「こおり男女共同参画プラン」

第7章 3. 町民窓口

町民窓口機能の充実

44,866千円

主担当課 税務住民課

役場の顔となる窓口は、笑顔の対応をモットーに来庁者へ親切丁寧に対応します。また、証明事務は窓口業務システムによる効率化と迅速化を推進します。



税務住民課の窓口

主な内容

戸籍住民基本台帳事務費(システム運用経費等)【23,242千円】

国民年金事務費【149千円】

住基C&Oシステム運用経費(住民窓口関係)【2,906千円】

窓口業務システム運用経費(税務関係)【18,569千円】

財源 手数料等【7,596千円】 国の負担分【149千円】

第7章 4. 総合計画

桑折町総合計画の推進

357千円

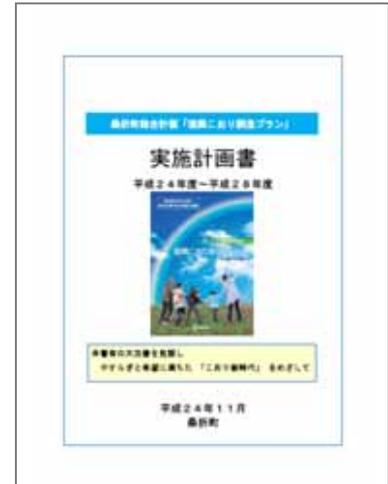
主担当課 まちづくり課

桑折町総合計画「復興こおり創造プラン」(平成24年2月策定)の着実な推進のためには、今後の財政見通しを踏まえた事業計画を示す必要があります。このため、主要事業の事業費や工程を計画化した実施計画書を別冊として作成しました。

町では、被災状況下において刻一刻と変化する情勢や財政状況を見定めながら、実施計画の進捗点検や評価を実施し、次年度の予算編成における指針として活用していきます。



復興こおり創造フォーラム開催(24.4.1)



実施計画書を作成した(24.11)

各種統計調査事業

526千円

主担当課 まちづくり課

今年度は「住宅統計調査」・「工業統計調査」を実施します。また、各種統計調査結果等を利用しやすい資料(「桑折町の統計」)としてまとめ、現状分析や行政施策立案に活用していきます。

主な内容

桑折町統計調査協議会補助金【34千円】

住宅土地統計調査【312千円】

工業統計調査【112千円】

その他の調査費【68千円】

財源 県負担分等【461千円】



県勢要覧は10月頃販売



町の統計はホームページで随時更新

行政機能の充実

95千円

主担当課 まちづくり課

限られた財源と職員を有効に活用し、期待される行政サービスの提供と様々な課題解決を実現するためには、不断の行政改革を推進していく必要があります。

町では、平成25年1月に「第5次行政改革大綱」及び「第5次行政改革大綱実施計画」を策定しました。スローガンに掲げる「町民に寄り添い、頼りにされる役場」をめざして、全職員で取り組むべき改革を推進します。

主な内容

行政改革推進懇談会【48千円】

指定管理者選定委員会【39千円】

ふくしま拠点まちづくり協議会【8千円】



第1回行政改革推進懇談会(24.11.22)



分野別計画等

「第5次行政改革大綱及び実施計画」

記念式典の開催

1,251千円

主担当課 総務課

様々な分野で町の振興発展等に尽力された人や団体を表彰する町表彰式を開催します。

また、平成27年1月に町制施行60周年を迎えることから、記念事業の開催準備を進めていきます。

主な内容

(新)町制施行60周年記念事業検討委員会【30千円】

桑折町特別功労表彰式【1,221千円】



桑折町表彰式(24.11.20)

情報通信技術の活用推進

15,730千円

主担当課 まちづくり課

町イントラネットは、公共施設を光ファイバーで結び事務の効率化や情報の共有化を行うためのシステムです。今年度もイントラネットの適正な運営と活用により、一層の町民サービス向上を図ります。

主な内容

地域イントラネット運用管理【9,345千円】 光ファイバーケーブル電柱使用料【699千円】

老朽パソコン及びプリンター更新【3,700千円】 その他【1,986千円】

第7章 5. 行政機能

町職員研修

473千円

主担当課 総務課

ふくしま自治研修センターへ積極的に町職員を派遣し、行政課題や技術向上等の研修を行います。また、職員資質等向上のため、町独自で職員研修会を開催します。

主な内容

自治研修センター負担金【196千円】

職員研修会【235千円】

情報セキュリティ講習会【42千円】



自治研修センター（福島市荒井）

庁舎管理費

21,673千円

主担当課 総務課

町の行政機能の拠点として役場庁舎の維持管理を行います。

主な内容

文書管理費(通信運搬、コピー機・印刷機等)【10,704千円】 光熱水費等【7,590千円】

電話交換機及び周辺機器賃借料【518千円】

夜間警備業務委託費【731千円】 その他の経費【2,130千円】

車両管理費

4,888千円

主担当課 総務課

公用車を安全に使用できるよう維持管理を行います。

主な内容

マイクロバス運転業務委託費【1,488千円】

燃料費【1,590千円】

その他の経費【1,810千円】



選挙関係費

6,941千円

主担当課 総務課

参議院議員通常選挙に係る経費です。

主な内容

選挙管理委員会運営費【708千円】 選挙啓発費【54千円】

(新)参議院議員通常選挙費【6,179千円】

財源 県負担分【5,775千円】

特別職及び一般職員人件費

1,051,331千円

主担当課 総務課

特別職3人分と一般会計内で従事する一般職員の人件費です。

財源 国県等負担分【26,834千円】

町議会の運営

77,503千円

主担当課 議会事務局

町民の代表機関である桑折町議会は14人の議員で構成され、町の予算や条例などを審議します。また、議会活動を町民にお知らせするため、議会だより発行などの広報活動を行います。

町財政の健全性維持

604,384千円

主担当課 総務課

歳入の確保と経費の節減・合理化に一層努め、財政の健全性を確保したうえで総合計画に掲げる施策を展開できるよう、計画的な財政運営に努めます。

主な内容

財政管理費（予算書印刷製本費や各種書籍等）【1,154千円】

財務管理システム運用費【3,682千円】

町有財産管理費（建物共済等）【3,460千円】

基金管理費（利子積立金）【144,219千円】

地方債借入金元金償還金等【451,869千円】

財源

東日本大震災復興交付金【143,500千円】

利子及び配当金【692千円】

東日本大震災復興支援基金【30千円】

貸付金元金収入【16,000千円】



分野別計画等

「桑折町総合計画実施計画書」

町税等の収納率向上と適正な課税

23,306千円

主担当課 税務住民課

町税等、課税対象の適正な把握と公平公正な課税に努めるとともに、町税等の確実な徴収と収納率の向上のため、納税意識の啓発や収納体制の強化を進めます。

また、固定資産税算定の基礎となる土地・家屋の評価額については、平成27年度に評価替を予定しています。そのため、新年度は101地点におよぶ標準地の鑑定業務に取り掛かっていきます。

主な内容

課税事務費（評価替標準地鑑定業務等）【8,590千円】

収納事務費（滞納管理システム経費や口座振替手数料等）【8,780千円】

税務申告支援システム関係費等【4,746千円】

その他管理費（臨時職員人件費や書籍、協議会負担金等）【1,190千円】



税に関するコンクール



租税教室の様子(24.12.14 半田醸芳小)



発行 福島県桑折町

〒969-1692

福島県伊達郡桑折町字東大隅18番地

TEL 024-582-2111 (代表)

FAX 024-582-2479

URL <http://www.town.koori.fukushima.jp>

E mail machizukuri@town.koori.fukushima.jp

編集 桑折町役場まちづくり課企画調整係、総務課財政係